

## シンポジウム

### シンポジウム 1

コロナ時代における肝移植医療のニューノーマル

詳細：

人類は COVID-19 という脅威に晒され、様々な分野において急速な変革を余儀なくされている。コロナ時代において、日本の肝移植医療が発展し続けていくためには何が必要か、教育・働き方改革・脳死臓器摘出互助制度を中心に、肝移植医療のニューノーマル（新常態）について発表頂きたい。

### シンポジウム 2

肝移植の限界への挑戦 - 超高難度症例への肝移植 -

詳細：

再肝移植や門脈血栓、血行再建困難、低体重小児や複数臓器不全の合併といった超高難度症例であっても、肝移植に挑戦することでこそ救える命がある。肝移植の限界ともいえる超高難度症例の手術手技をビデオにて供覧頂きたい。

### シンポジウム 3

再肝移植における問題点 - 脳死移植待機優先度、手術における Technical knack & pitfalls -

詳細：

肝移植患者は、長期経過の中で Graft 不全に陥る症例が散見される。本邦では 2017 年までに 6,000 件を超える肝移植が実施されており、将来多くの再肝移植症例と対峙することは必然である。再肝移植の成績は初回肝移植に比較して不良とされているが、移植成績の向上に向けて、脳死移植待機の問題点や手術の Technical knack & pitfalls などについてご発表頂きたい。